

気流

2017
Kiryu
No. 41



平成29年総会場所(北海道)



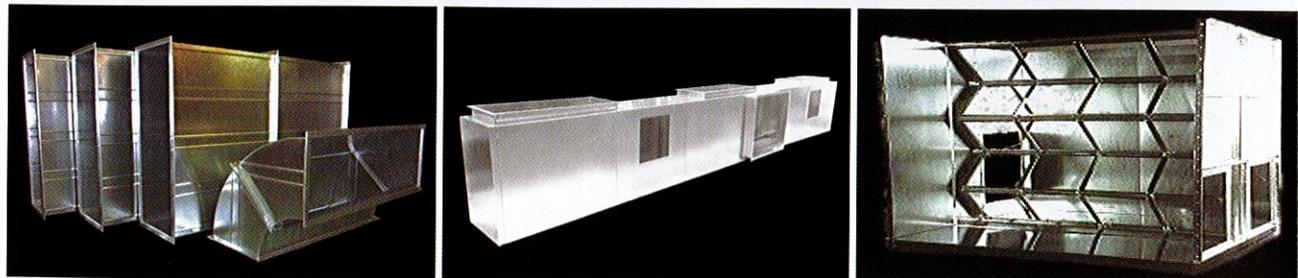
一般社団法人 全国ダクト工業団体連合会

工期短縮に軽量化ダクトシステム

●ツインリブダクト

●パネルダクト

●パネルチャンバー



TECNACS

東北工業株式会社

〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷3-23-3
TEL 048-284-1516
E-mail syn@tecnacs.co.jp
URL http://www.tecnacs.co.jp

太陽技研株式会社

〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷3-23-3
TEL 048-288-0971
E-mail acc@tecnacs.co.jp
URL http://www.tecnacs.co.jp

ご挨拶	一般社団法人 全国ダクト工業団体連合会 会長 田村 行雄	2
■特集 1 2017総会in札幌 全国から290名が集結	雇用の拡大技術の継承 地位向上 つくりつなげるダクトの未来 / 適正工期と値戻しで未来を拓く 処遇の改善 職業認知で雇用の強化	4
○祝辞	建設キャリアアップシステム稼働へ	国土交通省 土地・建設産業局建設市場整備課長 木村 実 10
	徹底した省エネ社会の実現を	経済産業省資源エネルギー庁省 エネルギー課長 吉田健一郎 10
	受検料減額で担い手育成	厚生労働省 職業能力開発局能力評価課長 瀧原 章夫 11
	これまで以上に連携深め	一般社団法人日本空調衛生工事業協会 会長 長谷川 勉 12
	技能伝承や人材確保・育成業界取組みのサポートも	新日鐵住金(株) 薄板営業部建材薄板室長 足立原 毅 12
	若者にも魅力ある職場づくりに貢献を	JFE鋼板(株) 鋼板営業部長 三嶋 秀明 13
	繁忙対策としての人的交流実現へ情報交換を	一般社団法人 全国ダクト工業団体連合会 会長 田村 行雄 14
	11年振り3回目の北海道開催を終えて	北海道ダクト工業協会 柳谷 泰蔵 16
■特集 2 MACS2017開催 17,000人が来場 最新技術や製品を紹介 業界の魅力を未来に向けてPR	4年ぶりに開催されたダクト・配管・保温の祭典	16
	将来担う人材を確保する大会に	一般社団法人 全国ダクト工業団体連合会 会長 田村 行雄 20
■特集 3 登録ダクト基幹技能者講習	平成29年度「登録ダクト基幹技能者講習」の開催案内	登録ダクト基幹技能者講習委員会事務局 26
	登録ダクト基幹技能者制度の概要	30
	登録ダクト基幹技能者 講習修了証の更新について	32
	平成28年度 登録ダクト基幹技能者講習の実施結果	36
	登録ダクト基幹技能者 / 認定者数一覧	37
	JIS A 4009 20年ぶりに改正 全ダ連がJIS原案作成の団体に	38
	一般社団法人全国ダクト工業団体連合会の団体英語文名について	施工技術委員会 JIS改訂原案作成委員会 39
	(日衛衛)技能者入職促進へPRビデオ 配管・ダクト・保温保冷の魅力伝える	40
	休日の過ごし方	日比谷総合設備(株) 東北支店 エンジニアリングサービス部長 大庭 寛勝 42
	タツノオトシゴと故郷	三機工業(株) 関西支社 設計1部長 岩松 青郎 44
	休日の息抜き	新菱冷熱工業(株) 九州支社 技術部長 寺尾 俊哉 46
	チームワーク	高砂熱学工業(株)大阪支店 技術1部技術生産課長 中室 友宏 48
	マラソンを通して	ダイタン(株) 熊本支店 技術部技術第二課 プロジェクトマスター 中野 修 50
	懐かしのインドネシア	(株)大気社 東北支店 支店長付 林 信行 52
	運命の出会い	東洋熱工業(株) 札幌支店 技術部長 宮崎 勝敏 54
■北から南へブロックだより	ジュニアゴルファー	山形県ダクト工業会 会長 秋葉 勝義 56
	少年野球に感謝!	宮城県ダクト工業会 会長 石渡 直也 58
	裏方気質	中部ダクト工業協同組合 (南宮本ダクト) 代表取締役 宮本 淳司 60
	「出前授業」角丸ダクトの製作体験	近畿ダクト工業協同組合 62
	浪漫に満ちた古備の国	岡山県ダクト工業会 会長 藤井 徹 64
	四国の四つの顔	四国ダクト工業協会 幹事 神尾 和弘 66
	スポーツと礼儀から 私が思うこと	共和工業(株) 代表取締役 笹沼 英雄 68
	在来線一人旅	JFE商事薄板建材(株) 第一営業部 第一流通室 柴田 直亮 70
	第14回定時社員総会報告/平成28年度事業報告	72
	平成29年度事業計画	78
	管・空調部門完成工事高上位20社	83
	編集後記	89



空白回避へ安全、安心、安定

一般社団法人全国ダクト工業団体連合会
会長 田村 行雄



本年3月末に開催させて頂いたMACS2017第13回スマート空調衛生システム展は、全国各地より2万人に近い来場者でした。これは一重に国土交通省、厚生労働省、経済産業省に後援された事とスーパーサブコンにも出展協力を頂いた事と感謝しています。今回のMACS2017は、コンセプトとした職業認知拡大による若年齢入職者の増加実現活動は、一定の目的を果たせたものとの感触を得ています。会員、賛助会員、特別会員の皆様には遅れ馳せ乍らご支援ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

又、去る7月13日開催した全ダ連第42回札幌総会にも大勢の会員に出席を頂き盛況裡の内に行なわれ、全ての議案が可決、承認されました。議決された事項が本格的に始動し成果が期待されています。涼を求めての札幌総会でしたが、過去に無い猛暑は想定外な事で思い出に残るものとなりました。又、アトラクションを始め工夫が籠められた設営に温かいおもてなしを感じた次第です。北海道ダクト工業協会の皆さん、本当にありがとうございました。本総会では、ダクト工の地位向上及び処遇改善を訴え、働き方改革が最も重要だとの認識を共有し、検討

課題を注視して行かなければなりません。

国土交通大臣が発する公共工事設計労務単価は概ね40%上昇させたとの事ですが、現時点でのその恩恵は実感としてありません。オリンピック景気と言われる期間中には実感出来る可能性は有るものの、空振りになってしまうかも知れませんが、常に適正価格受注する事が当り前と承知しておかなければなりません。他にも、同一労働、同一賃金ではベテランと新人との作業内容比較は簡単には計られません。

又、建設業界にも検討されている残業時間制限超の罰則規定等は歓迎すべき事なのか、不利益となるものなのか極めて判断が容易ではありません。一方、本年3月中旬に施工された建設職人基本法は、施工現場で就労する職人の健康と安全を担保する為の費用を、元請側に提出する見積書に明示し、その原資を確保すべき事と聞きますが、法定福利費と同様に、当然請負業の請負額に含まれていると言われればそのままになってしまいます。いずれにしても消費税とは異なる事で、元請側には必ず支払うとの意識が薄弱なのは当然なのかも知れま

せん。我々の為に良くなる事として施行される法律や制度は、現実として我々の収益改善に結びついていない事実を共有認識して、此の改善活動を強化推進しなければダクト業界の地位向上及び処遇改善は果たせませんので、適正利益を担保する適性価格受注の実践に他の策は存在しません。これは誰もが承知しています。

他方安全、安心に加える安定も重要課題と考えています。生産設備の稼働率の安定、職人の就労機会の安定、工事量と受注額の安定等他にも安定させたい事項はありますが、重要なもの就労機会に空白を作ってはならない事です。職人不足、人手不足が続く現在、少しでも有効に職人を活用するには会員同士の正確な、そして詳細な情報交換が必要不可欠です。

又、全ダ連としては全ての会員消息事情を即ち、全会員企業の稼働状況を把握して此の情報を還元する機能を有する仕組みを検討すべきではないか、その思いを強くもっています。特に空白を生じさせない事で安定を担保し、生産性の向上及び収益改善で適正利益の確保が叶えられると考えます。当然

の事として適正利益は社員への還元は元より、若年齢者の雇用活動費に充てられるべきで、此の実現がダクト工の地位向上と処遇改善に結びつく事と確信します。社員にも家族にも安心、安全、安定を供する義務は会員企業トップには常に存在する事を改めて承知しておかなければなりません。

他方、将来を見据えた時、2020年以降の市場がどうなっているのか気になる処ですが、ある程度は洞察しておく必要がありますので、多方面からの情報収集に努めて行くべきと考えます。全ダ連特別委員会によって此の役割を果たして洞察内容を会員企業へ展開しなければならぬと承知しています。企業の継続安定が一番重要な事と言うまでもありませんが、此の具体策は企業トップのみに秘められているものだと思っています。繁忙を乗り越えた先に努力した成果が物理的に担保されていると想像しますが、それが確実である様願っています。

結びに会員各社の益々のご繁栄と関係各位のご健勝、ご多幸を衷心よりご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。